

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1879	明治12	1	大阪 道頓堀角の芝居	伊賀越 大序より 八つ目まで	大序、靱負やしきのだん、松原のだん、円覚寺の段、般若坂のだん、政右衛門やしきのだん、大広間の段、沼津の段、新関所の段（路、跡巴枝）、岡崎のだん。 ※角書「乗掛合羽ノ道中双六」。	団子うり（兵三）、団子うり（辰太郎）。
1901	明治34	3	大阪 御霊文楽座	仮名手本忠 臣蔵 大序より 十段目まで	大序 鶴ヶ岡八幡宮兜改めのだん、恋歌のだん、桃の井若狭之介館のだん、大手先のだん、殿中刃傷のだん、裏門のだん、塩谷判官館のだん、霞ヶ関のだん、浜寺のだん、山崎街道のだん、二ツ玉のだん、早野勘平住家のだん、祇園一力のだん、道行恋初旅のだん（染・南部・源子・越登・葉、此所出遣い早替りにて御覧に入申候 吉田玉助ノ桐竹紋十郎）、山科大星閑居のだん、泉州天川屋のだん、両国橋のだん。 ※角書「塩谷判官ノ高野師直」。 ※「三月一日ヨリ五月十五日マデ七十四日間」「四月廿九日卅日ペスト掃除ニ付休業」（『義太夫年表 明治篇』）。	団子売（玉助）、団子売（紋十郎）。
1915	大正4	2/10～ 3/10	大阪 御霊文楽座	伊賀越 大序より 八ツ目の段迄	大序 花見のだん、序切 和田靱負屋敷のだん、縄手のだん、円覚寺諸士会合ノ段、茶の湯祝言のだん、丹右工門忠義のだん、郡山八幡宮のだん、唐木政右工門屋敷のだん、大広間のだん、沼津のだん、新関のだん（口 鶴尾、切 南部・源・常子・淀・越見＝*寛治郎・*勝市・*広太郎・*友造・他）、竹藪のだん、岡崎のだん。 ※竹本源太夫休演（『義太夫年表 大正篇』に拠る）。	団子売（栄三）、団子売女房（玉蔵）。
1920	大正9	5/1～30	大阪 御霊文楽座	伊賀越 大序より 岡崎の段まで	大序 花見のだん、和田靱負屋敷のだん、縄手のだん、円覚寺諸士会合のだん、茶の湯祝言のだん、丹右衛門忠義の段、唐木政右衛門屋敷のだん、大広間のだん、沼津のだん、新関のだん（口 和泉、奥 弥・ツレ 鏝・淀・町・嶋）、竹藪のたん、岡崎のだん。	団子売（栄三）、団子売（玉蔵）。
1926	大正15	9/15～	大阪 御霊文楽座	伊賀越道中 双六 大序より 八ツ目まで	大序 花見のだん、和田靱負屋敷のだん、郡山八幡宮の段、政右衛門屋敷のだん、大広間のだん、沼津里のだん、新関のだん（口 越名＝*広太郎、奥 鏝・ツレ 角・町・常子＝*友次郎・*勝市・*友平・*吉左・*喜代之助）、竹藪のだん、岡崎のだん。	団子売（栄三）、団子売女房（文五郎）。
1928	昭和3	2/3～19	大阪 弁天座	伊賀越 大序より 八ツ目まで	大序 鶴ヶ岡花見の段、和田靱負屋敷の段、縄手の段、円覚寺の段、郡山八幡宮の段、唐木政右衛門屋敷の段、大広間の段、沼津里の段、新関の段（口 富＝友作、奥 鏝・ツレ つばめ・越名・長子＝新左衛門・勝市・友平・新吉・新之助・新作）、竹藪の段、岡崎の段。 ※角書「道中双六ノ乗掛合羽」。 ※千種楽は「大阪朝日新聞」（2月19日）に拠る。	だんご屋（栄三）、だんご屋女房（文五郎）。
1928	昭和3	12/11～15	東京 新橋演舞場	伊賀越 郡山八幡宮 より 八つ目まで	郡山八幡宮の段、唐木政右衛門屋敷の段、大広間の段、新関の段（口 小松＝団伊三、奥 鏝・ツレ つばめ・越名・源左・佐久・宮・相寿・おぼこ＝新左衛門・勝市・友衛門・勝三郎・市之助・清若・才吉）、竹藪の段、岡崎の段。 ※角書「道中双六ノ乗掛合羽」。	団子売（栄三）、女房お福（文五郎）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1931	昭和6	11/1~	大阪 四ツ橋文楽座	伊賀越道中 双六 郡山八幡宮 より 岡崎の段迄	郡山八幡宮の段、唐木政右衛門屋敷の段、大広間の段、沼津里の段、新関の段（口 富=八助/広太郎、奥 綴・ツレ つばめ・町・源路・駒尾/小松/叶美/津城=新左衛門・仙糸・芳之助・寛市/吉左・新三郎/新吉/団伊三・新之助/吉男/新八）、竹藪の段、岡崎の段。	団子屋（栄三）、女房お福（文五郎）。
1936	昭和11	1/2~	大阪 四ツ橋文楽座	音冴春日月	団子売の段（つばめ・小春・源路・陸路/千駒・駒尾/隅栄/さの/叶美・津磨/常子/駒若=友治郎・仙糸・吉弥・広太郎/友造・猿二郎/友若・新太郎/友花/友三郎/綱延）。	団子屋杵造（栄三）、女房お福（文五郎）。
1936	昭和11	7/31~8/2	東京 歌舞伎座	音冴春日月	団子売りの段（呂・和泉・隅栄・津の子・土佐子=叶・重造・寛市・友駒・市松・猿若）。	団子屋杵造（栄三）、女房お福（文五郎）。
1938	昭和13	7/1~4	東京 新橋演舞場	寿式三番叟	引抜き 団子売の段（相生・伊達・播路・さの・相瀬/土佐夫・竹=道八・寛治郎・友衛門・新太郎・清友・一郎右衛門）。	団子売杵造（栄三）、女房お福（文五郎）。
1939	昭和14	1/1~22	大阪 四ツ橋文楽座	寿柱立万歳	引抜き 団子売の段（団子売杵造=相生・女房お福=源一・ツレ さの・駒若・土佐夫=吉弥・友造/友平・猿二郎/友若・団伊三・友蔵・吉蔵）。 ※千種楽は「大阪朝日新聞」（1月21日）に拠る。	団子売杵造（栄三）、女房お福（文五郎）。
△	1939	昭和14	京都 南座	音冴春日月	団子売の段（伊達・文・辰・隅若・駒若=友衛門・団六・新太郎・清友・他）。 ※「京都日出新聞」（1月23・25~26日・2月2日の記事、2月1日の広告）、「京都日日新聞」（1月28・30日・2月3日の記事、1月26日の広告）、「昭和の南座 資料編（上）」に拠る。	団子売杵蔵（玉幸）。
△	1939	昭和14	神戸 松竹劇場	音冴春日月	団子売の段。 ※「神戸新聞」（2月9・14~15日の記事、2月7日の広告）に拠る。	（不明）
△	1939	昭和14	博多 大博劇場	音冴春日月	団子売の段（伊達、他）。 ※文楽座一行巡業（2月17~23日、山陽・九州路）の内。2月18日広島・新天劇場（役割不明）、2月23日下関・弁天座（役割不明）で同公演あり。 ※「中国新聞」（2月13・17日の広告）、「九州日報」（2月19・21~23・25日）、「関門日日新聞」（2月16・28~23日の記事、2月23日の広告）に拠る。	（不明）
1939	昭和14	11/1~	大阪 四ツ橋文楽座	伊賀越道中 双六	唐木政右衛門屋敷の段、大広間の段、沼津里の段、新関の段（口 辰=寛若//播路=広二、奥 綴・織・南部/伊達・さの/津磨・宮/駒若・松島/土佐夫=寛治郎・団六・鶴太郎/友太郎/新太郎/友十郎・友衛門/寛市・一郎右衛門/吉蔵/広若・叶/吉弥）、竹藪の段、岡崎の段。	団子売杵造（栄三）、女房お福（文五郎）。
1940	昭和15	8/21~25	東京 明治座	音冴春日月	団子売の段（相生/織・文・津磨/宮・隅若/駒若/松島・英/越名・富=団六・吉季・一郎右衛門・団作・広弥・八造）。	団子売杵造（玉幸）、女房お福（紋十郎）。
1941	昭和16	3/1~23	大阪 四ツ橋文楽座	音冴春日月	団子売の段（杵造=和泉・お福=雛/陸路・さの/津の子・雛/陸路・富=叶・勝平・吉左/喜代之助・鶴太郎/友太郎・新太郎/広二・清友/一郎右衛門）。 ※千種楽は『松竹百年史』に拠る。	団子売杵造（玉幸）、女房お福（紋十郎）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△	1941	昭和16	8/4~6	京都南座	音冴春日月 団子売の段（杵造一南部／伊達・お福一竹改め 雛・叶美・松島・南次＝重造／友衛門・八造・友三郎・一郎右衛門・吉蔵・団作）。	杵造（光之助）、女房お福（文作）。
	1941	昭和16	8/11~12	名古屋御園座	音冴春日月 （南部・伊達・雛＝重造・友衛門・八造・他）。 ※『御園座七十年史』、「新愛知」（8月2・6・12日の記事、8月5・11・13日の広告）に拠る。	（不明）
	1942	昭和17	7/6~10	東京新橋演舞場	音冴春日月 団子売の段（雛・つばめ・津磨・司・呂賀＝友衛門／吉左・吉季・清友・一郎右衛門・団作・清広）。 ※豊竹古鞠太夫櫓下披露全員引越興行（筋書）。	杵造（光之助）、お福（文作改め 亀松）。
	1945	昭和20	2/3~23	大阪四ツ橋文楽座	末広加利 引抜き 団子売（津磨・宮・司・呂和＝松之輔・叶太郎・新三郎・寛弘・猿二郎）。 ※千種楽は『松竹百年史』に拠る。	団子売杵造（栄三郎）、女房お福（亀松）。
△	1945	昭和20	3/11~	神戸松竹劇場	末広加利 引抜き 団子売。 ※18日千種楽の予定が、17日空襲のため劇場焼失、興行中止（『松竹七十年史』、『松竹百年史』、『文楽』昭和22年5月号に拠る）。 ※「神戸新聞」（3月11日）に拠る。	お福（亀松）。
△	1945	昭和20	9/7~12	京都南座	団子売 （掛合）。 ※『昭和の南座 資料編（上）』、『文楽人形の芸術』、「京都新聞」（8月27~28・30~31日、9月1・6~7・12~13日の広告）に拠る。	（不明）
	1945	昭和20	10/5~	大阪朝日会館	団子売 （浜・隅若・八十・千駒＝清二郎・錦糸・寛弘・団作）。	杵三（栄三郎）、お福（紋司）。
	1945	昭和20	12/18	三重力富田劇場	女夫の日月 団子売の段（浜・隅若・千駒・松島＝八造・新三郎・団作）。 ※大阪文楽座巡業（12月12~21日、東海）の内。12月21日松阪市・松阪劇場（役割不明）で同公演あり。	杵造（光造）、お福（紋司）。
	1947	昭和22	4/3~26	大阪四ツ橋文楽座	音冴春日月 団子売の段（杵造一浜・お臼一越名・ツレ 隅寿・織部・相次＝吉三郎・叶太郎・錦糸・一郎右衛門・新三郎・寛弘）。 ※千種楽は『松竹百年史』に拠る。	団子売杵造（亀松）、女房お臼（光造）。
△	1947	昭和22	6/30	愛媛八幡浜劇場	音冴春日月 団子売の段（宮・古住・伊達男＝吉三郎・団作）。 ※「愛媛新聞」（6月23・26日の広告）に拠る。	（不明）
	1947	昭和22	9/20~25	東京東京劇場	音冴春日月 団子売の段（杵造一松・お臼一浜・隅若・古住・織部＝綱造・吉五郎・団作・寛弘・重造）。	杵造（亀松）、お臼（栄三郎）。
	1947	昭和22	11/28~	地方公演（東海）	音冴春日月 だんご売の段（越名・伊達男・松島＝錦糸・仙松・叶太郎）。	だんご売キネ造（亀松）、女房お臼（光造）。
△	1948	昭和23	3/5	久留米明治座	音冴春日月 ※九州巡業（25日間）の内。3月11日伊万里・大正座、18日大牟田・太陽館、22日門司・稲荷座で同公演あり。 ※「西日本新聞（地方版）」（3月3・9・11・16・21日の広告）に拠る。	（不明）
	1948	昭和23	5/25	福山福山公会堂	音冴春日月 団子売の段（団子売杵造一雛・女房お臼一古住・呂賀＝叶太郎・市治郎・団作）。 ※広島・愛媛巡業（5月25~30日）の内。5月27日三原・東宝劇場、28日愛媛・北条大正座、29日愛媛・郡中寿楽座、30日壬生川・曙劇場で同公演あり。	団子売杵造（亀松）、女房お臼（光造）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割	
1949	昭和24	2/4~23	大阪 四ツ橋文楽座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一越名・お臼一隅若・隅寿・英・富＝八造・市治郎・一郎右衛門・仙二郎・団作・燕三・勝太郎／錦糸）。 ※千種楽は『松竹百年史』に拠る。	団子売杵造（亀松）、女房お臼（紋司）。	
1949	昭和24	4/15	淡路 湊 劇 場 〈因会〉	色模様文五 郎好	（松・浜・隅若・相次＝八造・清友・新三郎・清好）。	団子売杵造（光造）、女房お福（文五郎）。	
△	1949	昭和24	4/21~23	地方公演 （中部） 〈因会〉	団子売	※「静岡新聞」（4月19・21日の広告）に拠る。	（不明）
1949	昭和24	8~9	地方公演 （東北・北海道） 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一雛・お福一松・宮・織の・相次＝広助・八造・清友・新三郎）。 ※9月11日仙台・東北劇場ではお福を豊竹宮太夫。	団子売杵造（亀松）、女房お福（光造）。	
1949	昭和24	10/13~20	東京 帝国 劇 場 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一雛・お福一宮・隅若・織の・相次＝八造・清友・新三郎・清好）。	団子売杵造（亀松）、女房お福（光造）。	
△	1949	昭和24	10/15~16	高知 堀 詰 座 〈組合〉	団子売	（総掛合）。 ※播州路・四国巡業（10月14日～）の内。 ※「高知新聞」（10月2・8・14日の広告）に拠る。	（不明）
1949	昭和24	12/1	広島 〈因会〉	音冴春日月	（宮・隅若・織の・相次＝八造・新三郎・清友・弥七）。	団子売杵造（玉市）、女房お臼（紋司）。	
1950	昭和25	1/7~10	大阪 松坂屋会館 〈組合〉	寿 万 歳	引抜き 団子売（七五三・つばめ・英・呂賀＝叶太郎・市治郎・寛弘・勝太郎・猿二郎）。	杵造（紋昇）、お福（紋之助）。	
1950	昭和25	1/12~14	神戸 湊川神社 〈組合〉	団子売	（杵造一越名・お福一古住・司・呂賀・富＝清二郎・猿二郎・友十郎・団作・燕三・市治郎）。	杵造（紋昇）、お福（紋之助）。	
1950	昭和25	2/15~18	名古屋 御 園 座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一浜・お臼一隅若・織の・相次・弘＝広助・新三郎・清友・八造）。	杵造（玉男）、お臼（紋司）。	
△	1950	昭和25	2/18~19	和歌山 田辺市公会堂 〈組合〉	春の日月	団子売。 ※和歌山巡業（2月18~22日）の内。 ※「紀伊民報」（2月15日の記事、2月14日の広告）に拠る。	（不明）
1950	昭和25	4/1~26	大阪 四ツ橋文楽座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（団子売杵造一雛／松・女房お臼一宮・隅若・相次・弘＝広助・八造・新三郎・寛弘・友十郎・豊之助改メ 豊助）。 ※浜太夫改め四代竹本津太夫・光造改め二代吉田栄三、和夫改め吉田文雀・豊之助改め豊沢豊助襲名披露。 ※千種楽は『松竹百年史』に拠る。	団子売杵造（和夫改メ 文雀）、女房お臼（紋司）。	
△	1950	昭和25	4/12	富山 富 山 座 〈組合〉	団子売	※高知・北陸巡業（11日間）の内。 ※「富山新聞」（4月6・12日の広告）、「北陸夕刊」（4月10日の広告）に拠る。	（不明）
1950	昭和25	5/12~	地方公演 （東海・伊勢） 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（団子売杵造一雛／松・女房お臼一宮・隅若・相次・弘＝広助・八造・新三郎・寛弘・友十郎・豊之助改メ 豊助）。	団子売杵造（和夫改メ 文雀）、女房お臼（紋司）。	

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
	1950	昭和25	6/1~6	東京 三越劇場 〈組合〉	音冴春日月 団子売の段（杵造一古住・お臼一呂賀・松島・司=吉三郎・燕三・一郎右衛門・団作・猿二郎）。	杵造（紋昇）、お臼（紋之助）。
△	1950	昭和25	7/13~14	岐阜 真砂座 〈組合〉	音冴春日月 ※名古屋・岐阜巡業（10日間）の内。 ※「岐阜タイムス」（7月7・12日の広告）、「中部日本新聞（岐阜版）」（7月7・12日の広告）、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』に拠る。	（不明）
△	1950	昭和25	8/7	倉敷 松竹劇場 〈組合〉	音冴春日月 団子売の段。 ※中国巡業の内。 ※「山陽新聞」「夕刊岡山」（8月7日の広告）、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』に拠る。	（不明）
	1951	昭和26	1/20~27	大阪 三越劇場 〈三和会〉	江戸華恋緋 鹿乃子 お七梯子登りより引抜き 団子売（杵造一司・お臼一呂賀・お七一古住・ツレ 伊達路=清二郎・勝太郎・市治郎・一郎右衛門・団作・猿二郎）。 ※鶴沢清二郎休演（『文楽興行記録昭和篇』に拠る）。	杵造（紋昇）、お臼（紋之助）。
△	1951	昭和26	7/20~22	名古屋 松坂屋ホール 〈三和会〉	団子売 ※東海巡業の内。 ※「夕刊新東海」（7月19日の広告）、『三和会公演控』、『文楽因会三和会興行記録』に拠る。	（不明）
△	1951	昭和26	7/28	岐阜市公会堂 〈三和会〉	団子売 ※『文楽興行記録昭和篇』書入れに拠る。	
	1952	昭和27	4/30	神奈川体育館 〈三和会〉	音の冴春の 日月 団子売の段（杵造一古住・おふく一呂賀・ツレ 伊達路=市治郎・一郎右衛門・団作・猿二郎）。 ※北陸・関東・東海巡業（4月9日~5月3日）の内。4月10日大垣市・日本劇場、12日松本市・第二公民館、13日長野市・商工会館、14日飯田市・常盤劇場、18日新潟・高田文化劇場、22日新潟・十日町小学校、24~25日宮城・仙台劇場で同公演あり（いずれも役割不明）。	杵造（紋之助）、お臼（作十郎）。
△	1952	昭和27	6/25	茨城 茨城会館 〈因会〉	音冴春日月 団子売の段。 ※「いはらき」（6月24~26日の記事、6月24日の広告）に拠る。	（不明）
	1952	昭和27	7/1~4	東京 新橋演舞場 〈因会〉	音冴春日月 団子売の段（杵造一宮・お臼一長子・相次・弘・静=八造・錦糸・新三郎・藤之助・清好・清友）。	杵造（栄三）、お臼（玉五郎）。
	1953	昭和28	4	地方公演 （中国・九州） 〈因会〉	音冴春日月 団子売の段（織部・織の・十九=八造・新三郎・寛弘・藤之助）。	杵造（亀松）、お福（栄三）。
	1953	昭和28	6/1~7	大阪 四ツ橋文楽座 〈因会〉	音冴春日月 団子売の段。 ※人形浄瑠璃女義太夫大顔合せ特別公演。文楽座人形全員総出演。	杵造（亀松）、お臼（玉五郎）。
	1953	昭和28	9/4~6	京都 南座 〈因会〉	音冴春日月 団子売の段。 ※人形浄瑠璃女義太夫大顔合せ特別公演。文楽座人形全員総出演。	団子売杵造（亀松）、団子売お臼（玉五郎）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割	
1954	昭和29	1/22~24	名古屋 御園座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（団子売杵造一宮・女房お臼一織部・十九・多満＝八造・清友・寛弘・団二郎・喜八郎）。	団子売杵造（栄三）、女房お臼（玉五郎）。	
1954	昭和29	2/16~25	京都 弥栄会館 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一宮／静・女房お臼一十九・多満・織の＝八造・清友・寛弘・清好・団二郎・喜八郎）。	団子売杵造（玉男）、女房お臼（玉五郎）。	
1954	昭和29	3/1~6	神戸 仏教会館 〈三和会〉	寿二人三番 叟	引抜き 団子売（松島・古住・呂賀・伊達路＝叶太郎・仙二郎・団作・勝平）。	杵造（勘十郎）、お臼（紋之助）。	
1954	昭和29	5/28~30	神戸 織維会館 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一南部・お臼一織部・弘・伊達路＝友十郎・清好・団二郎・清治・藤二郎・喜八郎）。	団子売杵造（玉男）、女房お臼（玉五郎）。	
△	1954	昭和29	6/3	浜松 浜松座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段。 ※『松竹百年史』に拠る。	
1954	昭和29	6/15~19	東京 三越劇場 〈三和会〉	雪月花	雪 お染倉場・月 団子売・花 道成寺（つばめ・古住・呂賀・三和・小松＝喜左衛門・勝太郎・一郎右衛門・仙二郎・団作・八助・勝平・友若）。	杵造（勘十郎）、お臼（紋之助）。	
1954	昭和29	8/1~30	地方公演 （東海・信越・東北・北海道） 〈因会〉	お好双草紙	上の巻 団子売の段・下の巻 お七火見櫓の段（南部・織の・弘＝豊助・清友・新三郎・団二郎）。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。	
1954	昭和29	9/4・14~16	大阪 四ツ橋文楽座 〈因会〉	音冴春日月	団子売りの段（杵造一長子・お臼一織部・ツレ弘・相次・相子＝豊助・友十郎・錦糸・新三郎・寛弘・喜八郎）。 ※9月5~13日「音冴春日月」の代わりに「梅薫教祖佛」を上演（『松竹百年史』『文楽因会三和会興行記録』に拠る）。 ※9月13~14日台風のため休演、27~28日に日延べ興行を行う（「毎日新聞（大阪版）」（9月13日）に拠る）。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。	
1954	昭和29	10/1	岡山 葦川会館 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段（お七一呂賀・杵造+お臼一古住＝勝太郎・仙二郎・団作・勝平・猿二郎）。 ※「伊達娘恋緋鹿子」八百屋お七火の見櫓の段より引抜き。	杵造（勘十郎）、お臼（紋之助）。	
		10/2	広島 福山市立南小学校 〈三和会〉	団子売	団子売の段（お七一呂賀・お臼一古住・杵造一松島・小松＝叶太郎・団作・仙二郎・勝平）。 ※八百屋お七火見櫓より引抜き。 ※中国巡業（9月29日～）の内。	杵造（勘十郎）、お臼（紋之助）。	
1955	昭和30	5/25~26	和歌山市民会館 〈因会〉	音冴春日月	団子売りの段（杵造一織の・お臼一織部＝錦糸・団二郎・藤二郎・喜八郎）。	杵造（光次）、お臼（文雀）。	
1955	昭和30	7/6~8	名古屋 御園座 〈因会〉	音冴春日月	団子売りの段（南部・織部・織の・弘・伊達路＝吉三郎・清友・錦糸・新三郎・寛弘・喜八郎）。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。	

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1955	昭和30	7/20~25	東京 新橋演舞場 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（南部・織部・織の・弘・津の子＝吉三郎・清友・錦糸・寛弘・喜八郎）。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。
1955	昭和30	8/17~21	京都 南座 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段（南部・織部・織の・津の子・相子＝錦糸・寛弘・清好・団二郎・藤之助）。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。
1955	昭和30	8/20~25	大阪 三越劇場 〈三和会〉	紋十郎十二つき	月（杵造一古住・お臼一若子・ツレ 小松・常子＝燕三・団作・友若・猿二郎）、雪、花。	杵造（紋之助）、お臼（紋二郎）。
1955	昭和30	9/15~18	神戸 仏教会館 〈三和会〉	月雪花	月（松島・小松・常子＝友若・団作・勝平）、雪、花。 ※「紋十郎好十二月の中」。	杵造（紋之助）、お臼（紋二郎）。
1955	昭和30	10/4~23	地方公演 （東海・近畿・四国・九州・山陽） 〈因会〉	所作事二題	団子売・お七火の見櫓（宮改め 和佐・織部＝友十郎改め 猿糸・新三郎・藤二郎）。 ※日程は『松竹百年史』に拠る。	杵造（玉男）、お臼（玉五郎）。
1956	昭和31	3/10	福岡 大博劇場 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一松島・お臼一小松・ツレ 常子・真砂＝仙二郎・友若・団作・勝平）。	杵造（勘十郎）、お臼（紋二郎）。
1956	昭和31	4/24~25	石川カ 山中温泉温泉 会館 〈因会〉	音冴春日月	団子売りの段（お福一雛・杵造一長子＝広助・猿糸・藤之助）。 ※豊沢仙八披露浄瑠璃大会。	杵造（玉男）、お福（玉五郎）。
1956	昭和31	4/29~5/3	名古屋 毎日ホール 〈三和会〉	月雪花	月の段（シテ 古住・ワキ 真砂・ツレ 常子＝友若・団作・勝平・猿二郎）、雪の段、花の段。 ※「紋十郎好み十二月の内」。	杵造（勘十郎）、お臼（紋二郎）。
△	昭和31	11/6	神奈川県立音楽堂 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段。 ※横浜古典芸術鑑賞会主催。 ※「神奈川新聞」（10月28日）、「朝日新聞（神奈川版）」（10月23日・11月4日）に拠る。	（不明）
1956	昭和31	12/1~16	東京 三越劇場 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段（松島／小松／常子／貴代／三和＝市治郎／仙二郎／団作／八助／勝平／猿二郎）。 ※大夫・三味線・人形毎日交替出演。 ※文楽教室。	杵造（紋七／紋四郎）、お臼（紋弥／紋寿）。
1956	昭和31	12/11~16	東京 三越劇場 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段（杵造一松島・お臼一小松・若子・常子・貴代・三和＝燕三・仙二郎・団作・勝平・猿二郎）。	杵造（紋之助）、お臼（紋二郎）。
1957	昭和32	4/10~26	地方公演 （中国・九州・近畿） 〈三和会〉	雪月花	（シテ 松島・ワキ 小松・ツレ 常子・三和＝燕三・仙二郎・団作・勝平・猿二郎）。 ※「紋十郎好み十二月の内」。	杵造（勘十郎）、お臼（紋二郎）。
1957	昭和32	4/11~	地方公演 （中国） 〈因会〉	音冴春日月	（杵造一南部・お臼一織の・ツレ 弘・相次・相子＝吉三郎・徳太郎・団二郎・藤二郎・藤之助）。	団子売杵造（玉助）、団子売お臼（栄三）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1957	昭和32	11/1~17	大阪道頓堀文楽座 〈因会〉	団子売	(団子売杵造一南部・女房お臼一織の・弘・伊達路・津の子=吉三郎・錦糸・新三郎・団二郎・藤之助・清治)。	団子売杵造(東太郎)、女房お臼(文雀)。
1958	昭和33	1/18~19	神戸国際会館 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段(和佐・南部・織部・相子=吉三郎・徳太郎・団二郎・豊助)。	杵造(玉男)、お臼(亀松)。
1958	昭和33	4/16~19	地方公演 (徳島・淡路) 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段(杵造一織の・お臼一十九・ツレ 伊達路・相次=吉三郎・新三郎・藤二郎)。 ※日程は『松竹百年史』に拠る。 ※吉田文雀氏蔵のプログラムに挟まれたメモに、吉田栄三不参加 お臼 吉田東太郎代役とある。	杵造(亀松)、お臼(栄三)。
1958	昭和33	5/26~6/10	地方公演 (東北・北陸) 〈因会〉	音冴春日月	団子売(杵造一織の・お臼一十九・ツレ 伊達路・相次=吉三郎・新三郎・藤二郎)。 ※日程は『松竹百年史』に拠る。	杵造(亀松)、お臼(栄三)。
1958	昭和33	6/25~29	東京新橋演舞場 〈合同〉	音冴春日月	団子売の段(雛・織の・織部・津の子・相子・伊達路=吉三郎・燕三・清好・勝平・団二郎・藤二郎)。	団子売杵造(栄三)、女房お臼(亀松)。
1958	昭和33	10/14~23	地方公演 (九州) 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段(織の・ツレ 津の子・相子=吉三郎・新三郎・団六)。 ※日程は『松竹百年史』に拠る。	杵造(玉男)、お臼(玉五郎)。
1959	昭和34	11/4~8	東京新橋演舞場 〈合同〉	音冴春日月	団子売の段(団子売杵造一古住・女房お臼一十九・伊達路・津の子・小松=叶太郎・錦糸・団六・団二郎・藤二郎)。	団子売杵造(亀松)、女房お臼(栄三)。
1959	昭和34	11/19~12/5	地方公演 (東海・関東・信越・北陸) 〈三和会〉	音冴春日月	団子売の段(杵造一松島・お臼一小松=燕三・仙二郎・団作・勝平・猿二郎)。	杵造(清十郎)、お臼(紋二郎)。
△	1960	昭和35	地方公演 (中国・四国・九州) 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段(相子・津の子・松香=徳太郎・団二郎・藤二郎)。 ※『昭和35年度人形浄瑠璃因協会年報』に拠る。	杵造(東太郎)、お臼(文昇)。
1962	昭和37	6/1~7	東京東横ホール 〈因会〉	音冴春日月	団子売の段(お臼一南部・杵造一大隅・ツレ 津弥・松香=徳太郎/錦糸・錦糸/徳太郎・新三郎・団二郎)。	杵造(栄三)、お福(玉五郎)。
1963	昭和38	2/5~10	東京三越劇場 〈三和会〉	団子売り	(若子・小松・松島・文字=勝太郎・仙二郎・勝平・団作・広若・勝之輔・猿二郎)。 ※「初春寿万歳」より引抜き。 ※文楽三和会「お別れ」公演(筋書)。	杵造(清十郎)、お臼(簗助)。
1963	昭和38	2/22~3/9	地方公演 (関東) 〈三和会〉	団子売	(文字・松島・小松=叶太郎・仙次郎・団作・猿二郎)。	杵造(清十郎)、お福(簗助)。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割	
1963	昭和38	6/8・14～21	地方公演 (近畿・東海・関東)	団子売	(文字・伊達路・相子＝燕三・団二郎・新三郎・団作・叶太郎)。 ※文楽協会誕生記念地方公演。 ※『文楽盛衰記』には「六月十日から廿一日まで」とある。	杵造(玉昇)、お臼(文雀)。	
△	1963	昭和38	10/2～12	地方公演 (四国・中国・九州)	団子売	※『昭和38年度人形浄瑠璃因協会年報』に拠る。	
1963	昭和38	10/28～11/15	地方公演 (東北・北海道)	団子売	(小松／相子・津弥・松香＝徳太郎・勝平・団作)。 ※文楽協会誕生記念地方公演。	杵造(玉男)、お臼(簗助)。	
1964	昭和39	1/15～29	地方公演 (東海・関東)	団子売	(源・織・津弥・松香＝吉三郎改め 吉兵衛・叶太郎・広若)。	杵造(一暢)、お臼(文昇)。	
1964	昭和39	3/3～22	大阪朝日座	偲ぶ草文五郎双紙	団子売(文字／織・十九・小松・綱子・若子＝錦糸・団六・勝平・団二郎・広若・清治／寛弘)。 ※文五郎事吉田難波掾三回忌追善。	杵造(亀松)、お臼(清十郎)。	
1964	昭和39	4/4～7	地方公演 (関東・甲信越)	団子売	(相子・津弥・松香＝叶太郎・団六・団作)。	杵造(一暢)、お臼(文昇)。	
1964	昭和39	5/8～11	地方公演 (九州・近畿)	偲ぶ草文五郎双紙	団子売・段畑(十九／伊達路・若子・津弥＝勝平・広若・勝之輔)。	杵造(清十郎)、お臼(玉五郎)。	
1965	昭和40	1/8～17	東京三越劇場	音牙春日月	団子売の段(織・十九・相子＝藤蔵・徳太郎・燕三・団六)。	杵造(清十郎)、お臼(玉五郎)。	
1966	昭和41	6/9～23	地方公演 (東北・甲信越・北陸)	団子売	(相子・小松・松香＝清治・団二郎・勝之輔)。	杵造(小玉)、お臼(紋寿)。	
1966	昭和41	7/22～31	大阪朝日座	音牙春日月	団子売の段(杵造一小松・お臼一若子・ツレ 綱子・相子・松香・小春＝燕三・勝平・団二郎・清治・勝之輔・錦糸)。	杵造(簗助)、お臼(文雀)。	
1967	昭和42	3/5～19	東京国立劇場小劇場	伊賀越道中双六 通し狂言	大序 鶴が岡の段、和田行家屋敷の段、郡山宮居の段、唐木政右衛門屋敷の段、菅田家大広間の段、沼津の段、富士川新関の段 引抜き 団子売(助平一文字・志津馬一咲・お袖一小松＝吉兵衛・徳太郎・勝平・清治・勝之輔)、竹藪の段、岡崎の段、伏見北国屋の段、伊賀上野仇討の段。	団子売杵造(小玉)、団子売お臼(紋寿)。	
△	1968	昭和43	10/19	大阪フェスティバルホール	団子売	(ツレ 緑＝寛治)。 ※富岡泰作成「竹本緑大夫舞台年表」に拠る。	
1969	昭和44	11/14～16	京都弥栄会館	団子売	(咲・呂・英・緑＝徳太郎・団六・団二郎・勝之輔)。	杵造(玉昇)、お臼(文雀)。	
1974	昭和49	11/19～27	東京国立劇場小劇場	音牙春日月	(杵造一英・お臼一貴・ツレ 津国・文字栄＝勝之輔・寛平・浅造・勝矢・松也)。	団子売杵造(文昇)、団子売お臼(紋寿)。	
1974	昭和49	12/6～7	名古屋中日劇場	音牙春日月	団子売の段(杵造一英・お臼一津駒・ツレ 貴・三輪・津国＝勝之輔・勝司・清介・勝矢・喜久三郎)。	杵造(簗助)、お臼(文雀)。	

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1975	昭和50	3/1~26	地方公演 (近畿・東海・関東)	音冴春日月	団子売(杵造一伊達路・お臼一松香・ツレ 緑・津駒/貴=錦糸・勝之輔・勝司・松也/喜久三郎)。	杵造(玉幸)、お臼(一暢)。
1975	昭和50	7/13~27	大阪朝日座	音冴春日月	団子売(杵造一呂・お臼一貴/三輪・ツレ 三輪/貴・文字栄/南司/津国/織の/武蔵=勝平・勝司・喜久三郎・弥三郎・浅造)。	団子売杵造(文雀)、団子売お臼(簗助)。
△	1975	昭和50	地方公演 (近畿)	音冴春日月	団子売。 ※『文楽 二十五周年を記念して一文楽協会』に拠る。	
1975	昭和50	11/14~16	京都府立文化芸術会館	団子売	(杵造一嶋・お臼一松香・ツレ 英・緑・津駒=勝平・寛平・清介・弥三郎・松也)。	団子売杵造(玉松)、団子売お臼(一暢)。
1976	昭和51	10/15~25	地方公演 (近畿・東海・中国・四国)	団子売	(杵造一伊達路・お臼一松香・ツレ 緑・南司=勝平・団二郎・勝司・清友)。 ※文化庁移動芸術祭。	団子売杵造(玉昇)、団子売お臼(文昇)。
1977	昭和52	11/9~30	地方公演 (関東・東海・信越・北陸・近畿)	音冴春日月	団子売の段(杵造一松香・お臼一緑・ツレ 南司=清介・弥三郎・燕太郎・八介)。	杵造(玉幸)、お臼(小玉)。
1978	昭和53	1/2~23	大阪朝日座	寿柱立万歳引抜き団子売	(太夫一嶋・才三一相生・ツレ 津駒・津国・南司・文字栄=勝平・勝司・清介・浅造・弥三郎)。 ※「寿柱立万歳」より引抜き。	団子売杵造(玉昇)、女房お臼(文昇)。
1978	昭和53	3/7~26	地方公演 (関東・東海・近畿・中国・九州)	音冴春日月	団子売の段(杵造一松香・お臼一緑・ツレ 津駒/南司=勝司・清友・弥三郎・八介)。	団子売杵造(玉幸)、女房お臼(一暢)。
1979	昭和54	2/25	東京国立劇場小劇場	音冴春日月	団子売(津駒・三輪・文字栄・南司・津国=勝司・浅造・燕太郎・研修生)。 ※第5期文楽研修生第1回試演会。	杵造(玉幸)、お臼(一暢)。
1979	昭和54	10/13~29	大阪朝日座	伊賀越道中双六	藤川新関の段 引抜き 団子売(助平一咲・志津馬一英・お袖一津駒・ツレ 文字栄・文字登・津梅=勝司・弥三郎・浅造・八介・錦弥・燕二郎)、竹藪の段、岡崎の段。	団子売杵造(小玉)、団子売お臼(文昇)。
1980	昭和55	3/7~25	地方公演 (関東・東海・近畿・中国・九州)	音冴春日月	団子売の段(杵造一松香・お臼一緑・ツレ 津駒・南司=勝司・吉之助・燕太郎・錦弥)。	杵造(玉松)、お臼(簗太郎/和生)。
1980	昭和55	9/6~21	東京国立劇場小劇場	団子売	(杵造一松香・お臼一津駒・文字栄・文字登・津梅=清友・吉之助・八介・錦弥・燕二郎)。	団子売杵造(玉幸)、団子売お臼(紋寿)。
1980	昭和55	11/1~3	京都府立文化芸術会館	団子売	(杵造一松香・お臼一津駒・三輪・南司/津国/文字栄・文字登/千歳/津梅=吉之助・八介・燕太郎・燕二郎・団治)。	団子売杵造(玉幸)、団子売お臼(文昇)。
△	1981	昭和56	東京国立劇場小劇場	団子売	※第7期文楽研修生第2回試演会。 ※第7期文楽研修生発表会プログラム(昭和57年3月1日)に拠る。	
1982	昭和57	11/14~29	地方公演 (北海道・東北・関東)	音冴春日月	団子売の段(杵造一緑・お臼一三輪・ツレ 津国・文字栄=勝司・燕二郎・団治)。	杵造(簗太郎)、お臼(勘寿)。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1983	昭和58	9/3~18	東京 国立劇場小劇場	団子売	(杵造一英・お臼一津駒・織美・南都=清友・弥三郎・八介・団治・清二郎)。	団子売杵造(簀太郎)、団子売お臼(勘寿)。
1986	昭和61	3/3	東京 国立劇場小劇場	音冴春日月	団子売の段(杵造一文字久・お臼一南寿・ツレ 研修生=団治・清吾・清二郎)。 ※第10期文楽研修生発表会。	杵造(玉輝)、お臼(清之助)。
1986	昭和61	5/10~25	東京 国立劇場小劇場	伊賀越道中 双六 通し狂言	和田行家屋敷の段、郡山宮居の段、唐木政右衛門屋敷の段、菅田家大広間の段、沼津の段、富士川新関の段 引抜き 団子売(助平一伊達路・志津馬一相生・お袖一津駒・ツレ 文字久・南都・文字栄=団六・錦弥・団治・清二郎・清吾)、竹藪の段、岡崎の段、伏見北国屋の段、伊賀上野仇討の段。	団子売杵造(玉女)、団子売お臼(簀太郎)。
1989	平成1	3/17	国立文楽劇場	団子売	(松香・津駒・三輪=団七・研修生・研修生・研修生)。 ※第12期文楽研修修了発表会・第13期文楽研修生発表会・文楽既成者研修発表会。素浄瑠璃。	
1990	平成2	1/3~24	国立文楽劇場	団子売	(杵造一緑・お臼一三輪・ツレ 津梅・文字久・南都・文字栄=燕二郎・団治・浅造・清太郎・喜一朗)。	団子売杵造(紋寿)、団子売お臼(和生)。
1991	平成3	12/5~17	東京 国立劇場小劇場	団子売	(杵造一緑・お臼一三輪・文字栄・呂勢・新=弥三郎・八介・浅造・清太郎・団市)。 ※竹本緑太夫休演のため、杵造を竹本津駒太夫が代演。	杵造(玉女)、お臼(勘寿)。
1992	平成4	4/5~21	国立文楽劇場	伊賀越道中 双六 通し狂言	和田行家屋敷の段、円覚寺の段、唐木政右衛門屋敷の段、菅田家大広間の段、沼津の段、藤川新関の段 引抜き 団子売(助平一咲・志津馬一三輪・お袖一貴・ツレ 南都・文字栄・新=清介・八介・清二郎・清太郎・団市)、竹藪の段、岡崎の段、伏見北国屋の段、伊賀上野敵討の段。	団子売杵造(文吾)、団子売お臼(勘寿/和生)。
1993	平成5	6/4~25	国立文楽劇場	団子売	【4~13日午前】(杵造一相生・お臼一津国・ツレ 呂勢・文字栄・始=八介・清二郎・清太郎・喜一朗)。	杵造(玉松)、お臼(文昇)。
					【4~13日午後】(杵造一松香・お臼一千歳・ツレ 南都・新・咲甫=八介・清二郎・清太郎・団吾)。	杵造(簀助)、お臼(一暢)。
					【15~25日午前】(杵造一三輪・お臼一千歳・ツレ 文字久・呂勢・新=団治・浅造・喜一朗・団市)。 ※竹沢団治休演のため、15~22日は鶴沢八介が、23~25日は鶴沢清二郎が代演。	杵造(玉幸)、お臼(和生)。
					【15~25日午後】(杵造一貴・お臼一津国・ツレ 文字久・南都・始=団治・浅造・団吾・団市)。 ※竹沢団治休演のため、15~21日は鶴沢八介が、22~25日は鶴沢清二郎が代演。 ※第10回文楽鑑賞教室。	杵造(文雀)、お臼(紋寿)。
△ 1993	平成5	10/31	西宮 白鹿記念酒造 博物館たつみ蔵	団子売	(杵造一千歳・他=燕二郎・他)。 ※西宮酒蔵公演。 ※『国立文楽劇場十年史』に拠る。	杵造(和生)、お臼(文司)。
1995	平成7	11/4~26	国立文楽劇場	団子売	(杵造一松香・お臼一津駒・ツレ 文字栄・新・始・ツレ 咲甫=団七・清二郎・浅造・団吾・喜一朗・団市・清志郎)。	団子売杵造(紋寿)、団子売お臼(和生)。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
1996	平成8	1/27~28	国立文楽劇場	団子売	(杵造一松香・お臼一津駒・ツレ 文字栄・新・始・咲甫=団七・弥三郎・浅造・喜一郎・団市・清志郎)。 ※第16期文楽研修修了発表会・文楽既成者研修発表会。	団子売杵造(清五郎)、団子売お臼(勘市)。
1997	平成9	4/29~5/1	愛媛内子座	団子売	(杵造一文字久・お臼一文字栄・ツレ 始=八介・団吾・清志郎)。 ※第3回内子座文楽。	団子売杵造(玉幸)、団子売お臼(文吾)。
1998	平成10	5/9~24	東京国立劇場小劇場	伊賀越道中双六通し狂言	和田行家屋敷の段、円覚寺の段、唐木政右衛門屋敷の段、菅田家大広間の段、沼津の段、藤川新関の段 引抜き 団子売(助平一伊達・志津馬一津駒・お袖一貴・ツレ 新・始・咲甫=団六・弥三郎・清二郎・団吾・団市・清志郎)、竹藪の段、岡崎の段、伏見北国屋の段、伊賀上野敵討の段。	団子売杵造(玉女)、団子売お臼(和生)。
1999	平成11	1/26~27	国立文楽劇場	団子売	(杵造一呂勢・お臼一咲甫・睦/つばさ・相子/呂茂=八介・研修生・研修生・団吾)。 ※第18期文楽研修生発表会・文楽既成者研修発表会。素浄瑠璃。	
2000	平成12	6/5~23	国立文楽劇場	団子売	【5~14日午前】(杵造一貴・お臼一文字栄・ツレ 咲甫・睦・つばさ=八介・清太郎・団市・清志郎)。 ※鶴沢清太郎休演のため、野沢喜一郎が代演。竹沢団市休演のため、トメに鶴沢清暲が代演。	杵造(玉也)、お臼(清之助)。
					【5~14日午後】(杵造一南都・お臼一呂勢・ツレ 始・相子・呂茂=清二郎・喜一郎・団吾・清暲)。	杵造(亀次)、お臼(玉英)。
					【15~23日午前】(杵造一文字久・お臼一南都・ツレ 新・呂茂・相子=清二郎・団吾・喜一郎・清暲)。	杵造(玉輝)、お臼(文司)。
					【15~23日午後】(杵造一貴・お臼一津国・ツレ 始・つばさ・睦=宗助・清太郎・団市・清志郎)。 ※鶴沢清太郎休演のため、野沢喜一郎が代演。竹沢団市休演のため、トメを鶴沢清暲が代演。 ※第17回文楽鑑賞教室。文化財保護法50年記念。	杵造(簗二郎)、お臼(勘弥)。
△ 2002	平成14	12/19~20	東京紀尾井小ホール	音冴春日月	団子売(英・貴=清友・喜一郎)。 ※クリスマス文楽特別公演。ゴスペル・イン・文楽。 ※『邦楽と舞踊』(平成15年3月号)他に拠る。	お臼(紋寿)。
2003	平成15	1/3~25	国立文楽劇場	団子売	(杵造一松香・お臼一三輪・ツレ 津国・文字栄・始・つばさ=団七・弥三郎・団吾・清暲・龍爾)。	団子売杵造(勘緑/玉志)、団子売お臼(清三郎)。
2003	平成15	1/27	国立文楽劇場	団子売	(杵造一松香・お臼一三輪・ツレ 始・研修生=団七・団吾・清暲・龍爾)。 ※第20期文楽研修生発表会。	杵造(玉志)、お臼(清三郎)。
2003	平成15	1/31~2/1	大阪天満橋ドーンセンター	団子売	(杵造一始・お臼一睦・相子=清志郎・清暲・清丈)。 ※第9回文楽若手自主公演「十色会」。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(玉翔/幸司)、お臼(紋吉)。
2003	平成15	12/4~16	東京国立劇場小劇場	団子売	【Aプロ】(杵造一三輪・お臼一文字栄・ツレ 始・睦・芳穂=弥三郎・清太郎・清暲・清丈)。 ※鶴沢清太郎休演のため、鶴沢清志郎が代演。吉田勘弥休演のため、お臼を吉田清五郎が代演。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(簗二郎)、お臼(勘弥)。
					【Bプロ】(杵造一津国・お臼一南都・ツレ 新・つばさ・相子=団吾・清志郎・龍聿・龍爾)。 ※第35回文楽鑑賞教室。	杵造(玉志)、お臼(清三郎)。

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
△ 2004	平成16	12/3	カトリック神戸中央教会	音冴春日月	団子売り（英・呂茂＝清友・団吾）。 ※カトリック神戸中央教会新生記念クリスマス・チャリティ公演。ゴスペル・イン・文楽。 ※公演チラシに拠る。	杵造（勘緑）、お臼（紋寿）。
2005	平成17	2/12～27	東京国立劇場小劇場	団子売	（呂勢・新・咲甫・つばさ・相子＝清友・弥三郎・清旭・清丈・龍聿・龍爾）。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	団子売杵造（紋豊）、団子売お臼（和生）。
2005	平成17	6/7～22	国立文楽劇場	団子売	【7～14日午前】（杵造一津国・お臼一つばさ・睦・芳穂・希＝弥三郎・清旭・清丈・龍爾）。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（亀次）、お臼（玉英）。
					【7～14日午後】（杵造一新・お臼一咲甫・相子・呂茂・靖＝喜一郎・龍聿・清丈・寛太郎）。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（幸助）、お臼（清三郎）。
					【15～22日午前】（杵造一文字栄・お臼一相子・つばさ・芳穂・靖＝清志郎・龍聿・龍爾・寛太郎）。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	杵造（勘弥）、お臼（簗二郎）。
					【15～22日午後】（杵造一始・お臼一睦・呂茂・希＝団吾・清丈・龍聿・龍爾）。 ※第22回文楽鑑賞教室。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（清五郎）、お臼（和右）。
2005	平成17	6/24～25	国立文楽劇場	団子売	（杵造一始・お臼一芳穂・靖・希＝清丈／龍聿・龍聿／清丈・龍爾・寛太郎）。 ※第5回文楽若手会・国立文楽劇場文楽既成者研修発表会。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（文哉）、お臼（紋臣）。
2006	平成18	11/4～26	国立文楽劇場	伊賀越道中双六	藤川新関の段 引抜き 団子売（助平一伊達・志津馬一松香・お袖一つばさ・ツレ 呂茂・希／靖＝清友・喜一郎・清旭・龍聿・龍爾）、竹藪の段、岡崎の段、伊賀上野敵討の段。 ※国立劇場開場40周年記念。	団子売杵造（幸助）、団子売お臼（清三郎）。
2007	平成19	12/21～22	守口京阪百貨店内京阪ギャラリー	団子売	（呂茂・希＝喜一郎・団吾）。 ※京阪文楽。	杵造（文司）、お臼（紋寿）。
2009	平成21	6/20～21	国立文楽劇場	団子売	（お臼一つばさ・杵造一呂茂・希・咲寿＝団吾・龍爾・寛太郎・清公）。 ※第9回文楽若手会・国立文楽劇場文楽既成者研修発表会。	杵造（紋吉）、お臼（紋秀）。
2009	平成21	7/5	河内長野ラプリーホール	団子売	（お臼一睦・杵造一芳穂・靖＝喜一郎・龍爾・寛太郎）。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	杵造（勘寿）、お臼（簗二郎）。
2010	平成22	1/27	東京三越劇場	団子売	（呂勢・咲甫＝燕三・宗助・寛太郎）。 ※三越名人会。	杵造（勘十郎）、お臼（簗次）。
2010	平成22	5/8～24	東京国立劇場小劇場	団子売	（杵造一南都・お臼一咲甫・芳穂・靖・咲寿＝清志郎・清旭・清丈・寛太郎・錦吾）。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	団子売杵造（幸助）、団子売お臼（一輔）。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
2010	平成22	5/30	岐阜 相生座	団子売	(杵造一芳穂・お臼一靖＝燕三・清丈・清公)。 ※第3回相生座文楽。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(幸助)、お臼(簀二郎)。
2010	平成22	6/2～17	国立文楽劇場	団子売	【2～3・5～9日午前・4日午後】(お臼一南都・杵造一津国・文字栄・希・咲寿＝清丈・清文・寛太郎・錦吾)。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(幸助)、お臼(文哉)。
					【2～3・5～9日午後・4日夜】(お臼一睦・杵造一始・芳穂・靖＝喜一朗・龍爾・清公・錦吾)。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	杵造(清五郎)、お臼(簀紫郎)。
					【10・12～17日午前・11日午後】(お臼一つばさ・杵造一芳穂・靖・咲寿＝団吾・龍爾・清公)。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	杵造(玉佳)、お臼(紋秀)。
					【10・12～17日午後・11日夜】(お臼一咲甫・杵造一相子・希＝清志郎・寛太郎・錦吾)。 ※第27回文楽鑑賞教室。4・11日の夜に「社会人のための文楽鑑賞教室」も開催。	杵造(勘市)、お臼(玉勢)。
2010	平成22	7/10	奈良 かしはら万葉 ホール	団子売	(杵造一相子・お臼一靖＝清丈・清公)。 ※「文楽ノススメ」公演。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(玉佳)、お臼(簀紫郎)。
2011	平成23	9/25～ 10/17	地方公演 (近畿・東 北・北陸・関 東・信越・東 海)	団子売	(お臼一南都・杵造一希・咲寿＝清丈・寛太郎・清公)。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(幸助／一輔)、お臼(紋臣)。
2012	平成24	2/25～ 3/17	地方公演 (沖縄・九 州・山陽・近 畿・関東・東 海)	団子売	(お臼一芳穂・杵造一靖・文字栄・小住＝清丈・龍爾・錦吾)。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	杵造(玉佳)、お臼(紋臣)。
2013	平成25	1/3～25	国立文楽劇場	団子売	(お臼一咲甫・杵造一相子・芳穂・靖・小住・文字栄＝清友・団吾・清丈・清文・龍爾・錦吾)。 ※野沢錦吾3～10日休演。吉田簀一郎19～25日休演のため、団子売お臼を桐竹紋臣が代演。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	団子売杵造(清五郎)、団子売お臼(簀一郎)。
2013	平成25	1/27	国立文楽劇場	団子売	(杵造一芳穂・お臼一希・咲寿・亘＝清丈・寛太郎・研修生・研修生)。 ※第25期文楽研修修了発表会。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造(簀紫郎)、お臼(玉誉)。
2013	平成25	12/4～16	東京 国立劇場小劇 場	団子売	【4～10日午前・11～12・14・16日午後・13日夜】(お臼一南都・杵造一咲甫・咲寿・亘＝喜一朗・団吾・清公・清允)。	団子売杵造(清五郎)、団子売お臼(紋秀)。
					【4～5・7・9～10日午後・11～16日午前・6日夜】(お臼一始・杵造一睦・小住・亘＝清志郎・清文・錦吾・燕二郎)。 ※第45回文楽鑑賞教室。6・13日の夜に「社会人のための文楽鑑賞教室」も開催。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	団子売杵造(勘市)、団子売お臼(簀紫郎)。

『団子売』上演年表

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
2014	平成26	6/6~19	国立文楽劇場	団子売	【6~8・10~12日午前・9日午後】（杵造一睦・お臼一始・靖・小住・南都=喜一朗・清丈・龍爾・清公・燕二郎）。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（清五郎）、お臼（簗一郎）。
					【6~8・10~12日午後】（杵造一芳穂・お臼一希・咲寿・小住・亘=清廬・清丈・寛太郎・錦吾・清允）。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（玉佳）、お臼（一輔）。
					【13~17・19日午前・18日午後】（杵造一始・お臼一希・咲寿・小住・亘=団吾・清志郎・寛太郎・錦吾・燕二郎）。	杵造（勘市）、お臼（紋臣）。
					【13~17・19日午後】（杵造一芳穂・お臼一靖・咲寿・小住・亘=清廬・清丈・龍爾・清公・清允）。 ※第31回文楽鑑賞教室。 ※国立文楽劇場開場30周年記念。 ※「芳穂」の「芳」、「清丈」の「丈」は異体字。	杵造（玉勢）、お臼（簗紫郎）。
2015	平成27	9/26~10/12	地方公演 （近畿・東海・東北・北海道・北陸・関東）	団子売	（お臼一呂勢・杵造一咲甫・ツレ 希=清治・清志郎・清公・燕二郎）。	杵造（文哉/玉勢）、お臼（紋秀/簗紫郎）。
2015	平成27	10/31~11/23	国立文楽劇場	団子売	（お臼一三輪・杵造一芳穂・咲寿・咲若=団七・団吾・龍爾・清允）。 ※豊竹咲若太夫休演。桐竹紋寿11月2~23日休演のため、団子売お臼を桐竹勘十郎が代演。 ※「芳穂」の「芳」は異体字。	団子売杵蔵（玉男）、団子売お臼（紋寿）。
2016	平成28	2/27~3/21	地方公演 （中国・北陸・九州・関東・東海・近畿）	団子売	（杵造一咲寿・お臼一小住・ツレ 亘=清志郎・龍爾・錦吾・燕二郎）。	杵造（玉佳）、お臼（紋臣）。
2018	平成30	8/25~26	愛媛内子座	団子売	（杵造一希・お臼一小住・碩=清廬・清丈・清允）。 ※「清丈」の「丈」は異体字。	団子売杵造（玉勢）、団子売お臼（簗紫郎）。

『団子売』上演年表

平成30年12月以降の国立劇場・国立文楽劇場での公演記録

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
2018	平成30	12/6~18	東京 国立劇場小 劇場	団子売	【6~12日11時、13・15・18日2時、14日7時】（杵造一靖・お臼一咲 寿・亘・碩=団吾・友之助・清公・清允）。	【6~12日11時、13・15・18日2時、14日7時】 団子売杵造（玉翔）、団子売お臼（紋吉）。
					【6・8・11・12日2時、7・10日7時、13~18日11時】（杵造一希・お 臼一小住・亘・碩=清丈・寛太郎・錦吾・燕二郎）。 ※第50回文楽鑑賞教室 ※7・10・14日は社会人のための文楽鑑賞教室 ※「清丈」の「丈」は異体字。	【6・8・11・12日2時、7・10日7時、13~18日 11時】 団子売杵造（簀太郎）、団子売お臼（玉 誉）。
2021	令和3	10/30~ 11/21	国立文楽劇 場	団子売	（お臼一三輪・杵造一希・津国・南都・聖（10/30~11/9）／薫 （11/11~21）・文字栄=清友・団吾・寛太郎・錦吾・清方）。 ※令和3年度（第76回）文化庁芸術祭主催公演 ※「日本博」参画プロジェクト	団子売杵造（玉勢）、団子売お臼（簀紫 郎）。